不平等に終止符を打ち、
2030年エイズ終結の軌道に

HIVとエイズに関する2021年国連総会政治宣言の主な約束とターゲット。

HAITI
GAMBIA
HONDURAS

行動を起こそう

国連総会は2021年6月9日、『HIVとエイズに関する政治宣言：不平等に終止符を打ち、2030年エイズ終結の軌道に』を採択しました。

公衆衛生上の脅威としてのエイズ終結を2030年までに実現する軌道に乗り、持続可能な開発目標（SDGs）、とりわけ目標3（健康と福祉）の達成に向けた進展を加速するため、私たち国家元首、政府首脳、代表団は2021年6月8日から10日まで国連に集まりました。

(a) エイズの世界的流行（パンデミック）開始以来、7500万人以上がHIVに感染し、3200万人以上がエイズ関連の病気で亡くなったことを悔やみつつ、

(b) HIV新規感染とエイズ関連の死亡を防ぐための知識とツールはすでにあるにも関わらず、国際社会がHIVとエイズに関する2016年政治宣言で約束した2020年ターゲットを達成できずに終わったことを深く憂慮し、遺憾の意を表明します。

(c) 社会的、経済的、人種的な不平等およびジェンダーの不平等、抑圧的で差別的な法律・政策・慣行、そして、HIV感染とエイズの世界的流行を拡大させる人権侵害を含めた様々なスティグマや差別に終止符を打つため、緊急かつ必要な変革のための行動を取っていきます。

(d) 国際協力と多国間主義の再構築、コミュニティの実質を伴う関与を通して、これまで以上にリーダーシップを発揮し、協力を進めます。そうすることで、包括的な予防・治療・ケア・支援に向けた国、地域、世界規模の行動を大急ぎで強化し、研究と開発、科学、健康的な世界への投資を増やすこと、そして持続可能な開発に向けたこの10年の成果を活用してその成果を最も届きにくい人たちに最初に届け、誰も取り残されないようにすることを強く約束します。

(e) 公平かつ包括的な方法でコロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミック、およびそれが世界のエイズの流行に与える影響から回復し、より良い成果をあげることを約束します。また、将来のパンデミックやその他の世界的な健康と開発の課題に対する復元力の確保、公衆衛生と保健システムの強化に向けて、HIV対策への投資と経験を引き続き活用していくことを約束します。

(f) 本宣言に含まれるコミットメントの達成に向けて、連帯と責任の共有に基づく世界規模のHIV対策を通じ、今後5年間に果たすべき緊急行動を実行します。そして、このコミットメントが達成されれば、2025年には年間の新規HIV感染者数が37万人以下、エイズ関連の死者数が25万人以下になることを認識しつつ、緊急性をもってHIVワクチンと治癒の研究に取り組むこと、HIV関連のあらゆるかたちのスティグマと差別をなくすための成果を生み出すことを約束します。

今回の政治宣言に盛り込まれた主なコミットメントと2025年ターゲット

結束して行動し、不平等に終止符を打つ

HIV陽性者、HIV感染のリスクに直面している人、HIVの影響を受けている人、およびコミュニティが直面するすべての不平等、そしてエイズ終結の障壁となっている国内・国際間の不平等に終止符を打てるようにします。HIVの曝露を受ける可能性が高い人たち、またはHIV陽性の人たちがキーポピュレーションであることを認識します。HIV感染のリスクが高いキーポピュレーションには、男性とセックスをする男性、トランスジェンダーの人たち、注射薬物使用者、セックスワーカーとその客、刑務所など閉鎖された環境にいる人たちが含まれます。

サハラ以南のアフリカ地域では、思春期の少女と若い女性のHIV感染リスクが高く、エイズが思春期の少女と女性（15-49歳）の最も大きな死亡原因になっていることを懸念します。

HIVとエイズに関する2021年政治宣言に盛り込まれた分野横断的な約束とターゲット

公平で平等なHIVサービスと解決策を最大限、利用できるようにする

- すべての人に向けたコンビネーションHIV予防
- HIV検査と治療の95-95-95ターゲット
- 小児エイズの終結と母子感染排除

HIV対策の成果を妨げる障壁を打破する

- ジェンダーの平等と女性の地位向上
- コミュニティのリーダーシップ
- 人権の実現、スティグマと差別の解消

十分な資金を確保し、効率的で統合されたHIV対策を維持する

- ユニバーサルヘルスカバレッジとの統合
- 投資資金の確保

世界エイズ戦略2021-2026における戦略的優先課題

HIVとエイズに関する2021年政治宣言に盛り込まれた約束とターゲットの重点分野

すべての人に向けた コンビネーションHIV予防

主な約束

- エビデンスに基づき効果が証明されているコンビネーションHIV予防対策への資金配分を国のリーダーシップで増やし、対策の充実、強化をはかる。コンドームの配布と普及、曝露前予防（PrEP）、曝露後予防（PEP）、自発的男性器包皮切除、ハームリダクションなどが含まれる。また、性感染症のスクリーニング検査と治療、適切な法律と政策環境の整備、学校の内外における包括的な情報提供と教育への完全なアクセスなど、国内法および性と生殖に関する保健サービスの充実が必要になる。

- セックスワーカー、男性とセックスをする男性、注射薬物使用者、トランスジェンダーの人たち、刑務所など閉鎖された環境にいる人たち、そしてHIV陽性者を含むキーポピュレーションごとに、多様なニーズに対応できるようコンビネーションHIV予防の内容を工夫する。

- 国の疫学データを活用してHIV感染の高いリスクに曝されている他の優先集団を特定し、当事者との協力のもとで包括的HIV予防サービスの設計と提供を進める。優先集団には、思春期の少女と女性およびその男性パートナー、若者、子供、障害者、少数民族･人種、先住民、地方コミュニティ、貧困層、移民、難民、国内避難民、軍人、人道上の緊急事態や紛争および紛争後の状況にある人たちが含まれる可能性がある。

2025ターゲット

- 2025年までに年間の新規HIV感染者数を37万人以下に減らす。

- 疫学的にHIV感染の高いリスクに直面している集団、年齢層、地理的環境に属する人たちの95%が、人を中心に考え、適切で優先度が高く、効果的なコンビネーション予防の選択肢を利用できるようにする。

- 2025年までに思春期の少女と若い女性の年間新規HIV感染者数を5万人以下に減らす。

- 2025年までにHIV感染リスクのかなり高い人（1000万人）がPrEP（曝露前予防）を利用できるようにする。また、最近HIVの曝露を受けた人がPEP（曝露後予防）を利用できるようにする。

- 人道的な危機状況のもとでHIV感染のリスクに直面している人の95%が、人を中心に考え、適切で優先度が高く、効果的なコンビネーション予防の選択肢を利用できるようにする。

コンビネーション予防を読み解く

2025年までに年間の新規HIV感染者数を37万人以下に減らす。

思春期の少女と若い女性の新規HIV感染者数を5万人以下に減らすことを含む

疫学的にHIV感染の高いリスクに直面している集団、年齢層、地理的環境に属する人たちの95%が、人を中心に考え、適切で優先度が高く、効果的なコンビネーション予防の選択肢を利用できるようにする。

人道的な危機状況のもとでHIV感染のリスクに直面している人の95%を含む

検査と治療の95-95-95ターゲット

HIV陽性で妊娠中および授乳中の女性はすべて、生涯にわたる抗レトロウイルス治療を受け、出産前および授乳中にはその95%がウイルス抑制を達成し、維持する

出産可能年齢の女性と少女の95%が必要なHIVサービス、性と生殖に関する保健サービスを受けられるようにする。妊娠中および母子保健のケア、情報、カウンセリングを含む

HIVの影響が大きい環境のもとで暮らしているか、HIV感染のリスクが高い男性パートナーがいる妊娠中および授乳中のHIV陰性の女性はすべて、PrEPを含むコンビネーション予防を利用できる。また、HIV陽性の男性パートナーの90%が継続的に抗レトロウイルス治療を受ける

社会的イネーブラー（課題解決の実現を支える要因）の10-10-10ターゲット

政治宣言のその他の章における予防関連ターゲット

コンビネーション予防プログラムは、人権を重視し、エビデンスに配慮して、個人やコミュニティがいま必要としているHIV予防ニーズに対応することを優先し、新規感染を持続的に減らすために最大限の成果が上がるよう生物医学的、行動学的、構造的介入策を組み合わせたコミュニティ主体のプログラムである。

- 政治宣言のターゲット
- 世界エイズ戦略のターゲット

HIV感染のリスクがかなり高い人（1000万人）がPrEPを利用できる

最近HIVの曝露を受けたすべての人がPEPを利用できる

優先15カ国で思春期の少年、男性の90%が自発的男性器包皮切除を受ける

PrEPを利用せず、体内のHIV量が検出限界値未満と確認できない不特定の性パートナーがいる人（HIV陰性が分かっている人を含む）は、直近のセックスで常にコンドームと潤滑剤を使用する

- ゲイ男性など男性とセックスをする男性、注射薬物使用者、トランスジェンダーの人たち、セロディスコーダント（一方がHIV陽性で他方は陰性）のカップルの95%
- セックスワーカー、受刑者など閉鎖された環境にいる人たち（クライアントまたは不特定のパートナーとのセックス）の90%
- 感染リスクが非常に高いと考えられる人（感染リスクが高いことが報告されている行動をとる人、HIV感染率が高い地域に住んでいる人）の95%
- 感染リスクが中程度と考えられる人（リスクが低いことが報告されている行動をとる人、HIV感染率が中程度の地域に住んでいる人）の70%
- 感染リスクが低いと考えられる人（リスクが低いと報告された行動取る人、HIV感染率が低い地域に住んでいる人）の50%

若者の90%が、国連の国際技術ガイダンスに沿った包括的性教育を学校で受ける

ゲイ男性など男性とセックスをする男性、セックスワーカー、トランスジェンダーの人たちの80%が、性感染症のスクリーニング検査と治療を受けることができる

適切な医療システムまたはコミュニティ主導のサービスの定期的な利用

- 受刑者など閉鎖された環境に置かれた人は100%
- ゲイ男性など男性とセックスをする男性、セックスワーカー、注射薬物使用者、トランスジェンダーの人たちは90%

注射薬物使用者、受刑者など閉鎖された環境に置かれた人たちの90%が直近の注射の際に消毒された注射針・注射器を使用する

オピオイド依存症の人の50%がオピオイド代替療法を受ける

政治宣言および世界エイズ戦略の一次予防ターゲット

HIV検査と治療の95-95-95

主な約束

- 診察の場における早期乳児診断やHIV自己検査など効果的なHIV検査技術とアプローチを活用して利用者の事情に合わせた分化型HIV検査戦略を確立し、HIV陽性の診断後は迅速に治療を開始する。
- デジタルサービスやコミュニティに基盤を置くサービスなど利用者の事情に合わせた分化型サービス提供のモデルを検査と治療に活用し、必要な人にその場で治療および関連サービスを提供する。このことでCOVID-19パンデミックのような事態が招く課題を克服する。
- 安全で効果的かつ手頃な価格で利用できる高品質の医薬品、診断薬、健康用品、技術に対し、公平で信頼できるアクセスの確保を実現する。
- 世界保健機関が推奨するように、HIV治療を受けているすべての人がHIVのウイルス量検査を定期的に受け、モニタリングできるようにする。

2025ターゲット

- 2025年までにエイズ関連の年間死者数を25万人以下に減らす。
- 2025年までに3400万人がHIV治療を受けられるようにする。
- HIV陽性の子供や思春期の少年少女を含め、すべての人口集団、地域において検査・治療・ウイルス抑制の95-95-95ターゲットを達成する。
  - HIV陽性者の95%が自らのHIV感染を知る。
  - 自らのHIV感染を知っている人の95%が治療を受ける。
  - 治療を受けている人の95%が体内のウイルス量抑制を果たす。
- 2025年までにHIV陽性者の90%が結核の予防的治療を確実に受けられるようにする。
- 2025年までにHIV陽性者の結核関連の死亡を（2010年をベースラインとして）80%削減する。

「不平等をなくすことが、HIV陽性者とコミュニティと国々に変革をもたらすのです」

アントニオ・グテーレス国連事務総長の2021年国連総会報告

小児エイズ終結と垂直感染（母子感染）の排除

主な約束

- HIV感染の診断を受けたすべての子供に、最も適した治療を提供できるようにする。
- 2025年までにHIVの垂直感染（母子感染）をなくし、小児エイズを終結に導く。
- 出産可能な年齢層の女性、とりわけ妊娠中の女性、授乳中の女性のHIV感染予防に必要な一連のサービス、およびサービス需要と現実とのギャップを特定し、対応する。このため：
  - HIV陽性で妊娠中または授乳中の女性に対する診断と治療を通じ、妊産婦死亡率の低下をはかる。
  - HIVの母子感染を防ぐ。
  - 世界保健機関のHIV母子感染排除認証に向けた措置を取る。

2025ターゲット

- 95-95-95 HIV治療ターゲットに沿って、2023年までにHIV陽性の子供たちの75%、2025年までに86%がウイルス量抑制を維持する。
- 2025年までに妊娠中の女性の95%がHIV、梅毒、B型肝炎、その他の性感染症の検査を受けられるようにする。
- HIVの影響が大きな環境のもとでは2025年までに、妊娠中および授乳中の女性の95%が妊娠後期および産後にHIVの再検査を受けられるようにする。
- 妊娠中および授乳中のHIV陽性の女性は2025年までに全員、生涯にわたる抗レトロウイルス治療を受けられるようにし、95%が出産前および授乳中のウイルス抑制を達成、維持する。
- HIVの影響が大きい環境のもとやHIVのリスクが高い男性パートナーがいる場合には、妊娠および授乳中のHIV陰性の女性は全員、PrEPを含むコンビネーション予防を利用できるようにする。また、HIV陽性の男性パートナーの90%が抗レトロウイルス治療を継続的に受けるようにする。
- HIVの曝露を受けた子供の95%が、生後2カ月以内および母乳育児終了時に検査を受けるようにする。

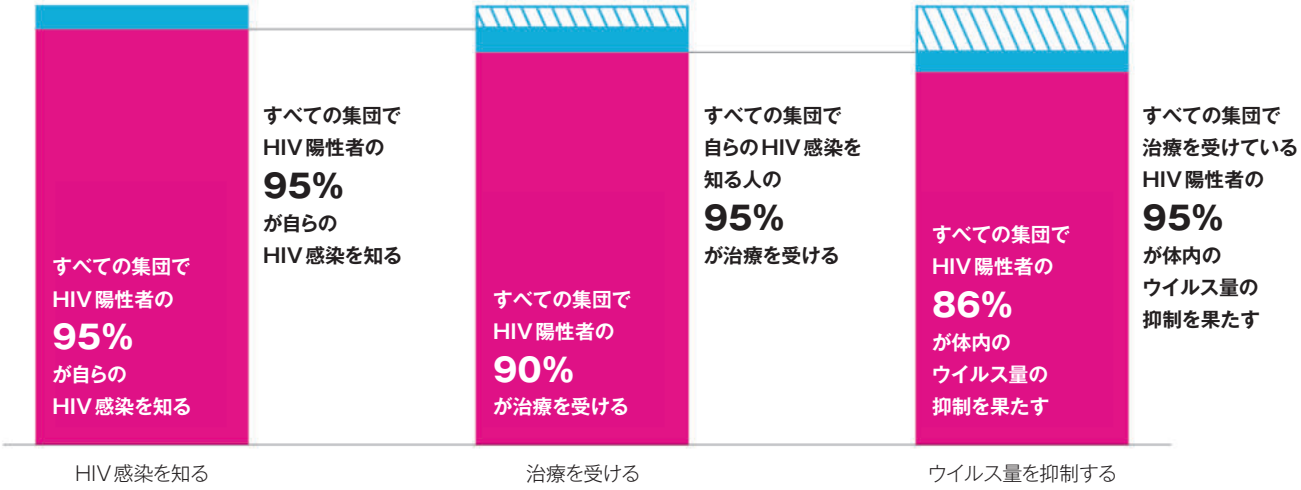
垂直感染（母子感染）の排除

95-95-95を超えて

2025 ターゲット

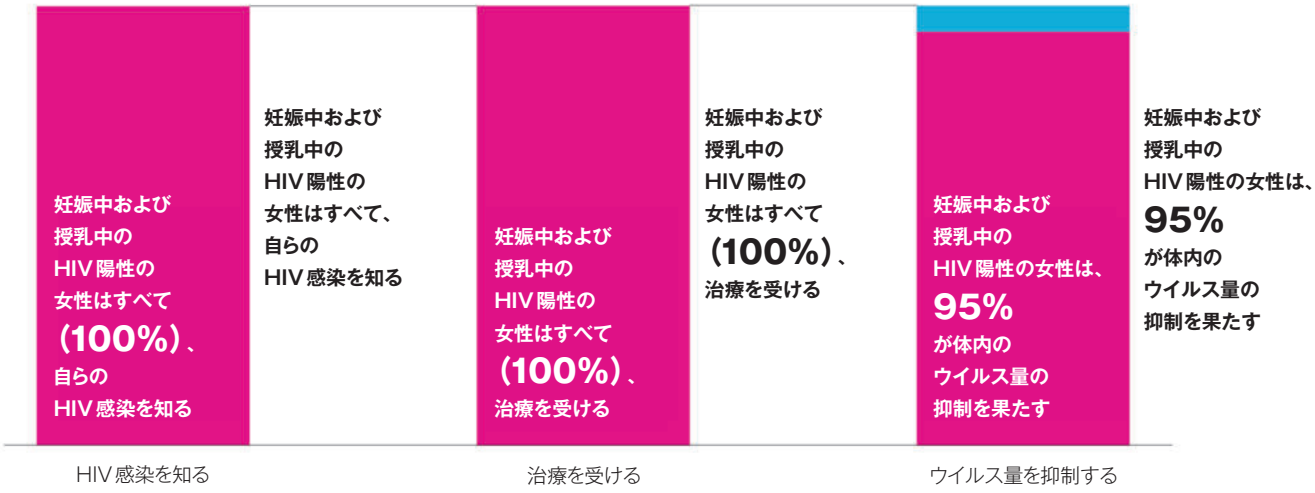
HIV陽性の子供、若者を含むすべての人口集団、地理的環境において検査･治療･ウイルス抑制の95-95-95ターゲットを達成する。

- HIV陽性者の95%が自らのHIV感染を知る。
- HIV感染を知った人の95%が治療を受ける。
- 治療を受けている人の95%が体内のウイルス量抑制を果たす。



2025 ターゲット

2025年までに、妊娠中および授乳中のHIV陽性の女性がすべて、生涯にわたる抗レトロウイルス治療を受けられるようにし、95%が出産前および授乳中のウイルス抑制を達成、維持する。



ジェンダーの平等と女性の地位向上

主な約束

- 近親者間の暴力を含め、あらゆる形態の性暴力、ジェンダーに基づく暴力を排除する。そのために：
  - 法律の制定と政策の採用、実施を進める。
  - ジェンダーに関する有害な固定観念と否定的な社会規範、認識、慣行を変える。
  - HIV陽性の女性、HIV感染のリスクがあり、HIVに影響を受けている女性が直面する様々なかたちの差別や暴力に対処できるよう、それぞれの事情に合わせたサービスを提供する。
- すべての少女・若い女性に教育を受ける権利を保障し、仕事のスキルと雇用機会、金融リテラシーと金融サービスへのアクセスを確保することで、経済的に女性の地位向上をはかる。
- 思春期の少女および女性が、HIVとその併存症、重複感染症、性感染症、意図しない妊娠を防げるよう、質の高い教育を受ける権利の確保を含む統合的なサービスを提供する。子供に対する早期および強制的な結婚、女性性器切除などすべての有害な慣行を取り除き、性と生殖に関する健康と権利を含めた女性と少女の人権を完全に保護、促進、履行する。すべての女性が、性と生殖に関する健康を含め、セクシュアリティに関連する問題を自ら管理し、自由かつ責任を持って決定する権利を行使できるようにする。

2025ターゲット

- ジェンダーに基づく不平等、性的暴力・ジェンダーに基づく暴力を経験しているHIV陽性の女性と少女、HIV感染のリスクに直面しHIVに影響を受けている女性と少女の数を10%以下に減らす。
- 出産可能な年齢層の女性と少女の95%が、妊娠および母子保健ケアの情報とカウンセリングを含め、必要なHIVサービスおよび性と生殖に関する健康サービスを受けられるようにする。

コミュニティのリーダーシップ

主な約束

- HIV陽性者のより積極的な関与（GIPA）の原則を果たし、関連する世界規模および地域、国内、地方のネットワークなど影響を受けているコミュニティが、HIV対策の意思決定、計画、実施およびモニタリングに確実に加われるようにする。そのための十分な技術的、財政的支援を提供する。

- コミュニティからのデータを活用して、HIV陽性者、HIV感染のリスクに直面している人たち、HIVに影響を受けている人たちの権利をまもり、ニーズに応えられるようにしていく。

2025ターゲット

- 2025年までにコミュニティ主導の組織が、HIV検査・治療のサービスの30%を提供できるようにする。HIV検査・治療へのリンク、治療継続の支援、治療リテラシーに焦点を当てる。

- 2025年までに、女性を含めHIV感染の高いリスクに直面している人たちに対するHIV予防サービスの80%をコミュニティ主導の組織が提供できるようにする。

- 2025年までに、社会的イネーブラー（課題解決の実現を支える社会的要因）の達成を支援するプログラムの60%をコミュニティ主導の組織が提供できるようにする。

**「HIVと闘うために必要なものは何か。
国連加盟国の皆さんには、コミュニティの声を聞くように呼びかけたい。
私たちの将来は皆さんの決断にかかっています」**

フェイス・エベレ・オヌ（ナイジェリアHIV陽性ユース協会）

エイズに関する国連ハイレベル会合2021に先立って開催されたマルチ・ステークホルダー公聴会で

社会的イネーブラーの 10-10-10 ターゲット

社会的イネーブラー：HIVに関わるスティグマと差別を取り除き、女性と少女が性と生殖に関する健康と権利を求められるようにし、HIV感染の高いリスクに直面している人たちに対する社会的な排除をなくすための法律や政策、教育キャンペーン

ジェンダーに基づく不平等、および性的暴力・ジェンダーに基づく暴力を経験しているHIV陽性の女性・少女、HIVの高いリスクに直面し、HIVの影響を受けている女性・少女の数を10%以下に減らす。

同意年齢法およびHIVの非開示・曝露・感染に関連する法律、HIV関連の旅行制限および義務的な検査を課す法律、サービス利用の拒否または制限につながる法律など、HIV陽性者、HIVのリスクに直面する人たち、HIVに影響を受けている人たちを不当に扱う法律や政策をもつ国を10%未満にする。

U=U（検出限界値未満=感染しない）のメッセージの活用を含め、HIV陽性者、HIV感染の高いリスクに直面している人たち、HIVの影響を受けている人たちの間で偏見や差別を経験する人の割合を10%未満にする。

セックスワーク、少量の薬物所持、同性間の性関係、HIVの感染・曝露・非開示を犯罪とする国を10%未満にする。

HIV陽性者やキーポピュレーションの人たちが虐待や差別を受けたことを報告し、救済を求めるための仕組みがない国を10%未満にする。

法的サービスを利用できないHIV陽性者やキーポピュレーションの人たちが10%未満になるようにする。

■ 政治宣言の2025ターゲット

■ 世界エイズ戦略の2025ターゲット

人権の実現、スティグマと差別の解消

主な約束

- HIV関連の偏見や差別をなくし、HIV陽性者、HIVのリスクに直面している人たち、HIVに影響を受けている人たちの人権を尊重し、まもり、推進する。

- HIV陽性者、HIVのリスクに直面している人たち、HIVに影響を受けている人たちに対する暴力その他の人権侵害を防ぐための法律を施行し、政策を採用、実施する。達成可能な最高水準の心身の健康を維持する権利、教育を受ける権利、十分な食料・住居・雇用・社会保護など適切な生活水準を維持するための権利をまもる。

- HIV陽性者、HIVのリスクに直面している人たち、HIVに影響を受けている人たちに対する人権侵害を免責させない。そのためには、法制度への理解を助けるプログラムの確立、および法的支援・代理人へのアクセス拡大を通し、HIV陽性者、HIVのリスクに直面している人たち、HIVに影響を受けている人たちが司法を利用しやすくする方法を意味のあるかたちで確保しなければならない。また、裁判官、法執行機関、保健医療従事者、ソーシャルワーカー、その他履行義務を負う人たちに対し、それぞれの責務への認識を深める研修を行う。

2025ターゲット

- 同意年齢法やHIVの非開示・曝露・感染に関する法律、HIV関連の旅行制限や強制検査を課す法律、サービス利用の拒否または制限につながる法律など、HIV陽性者、HIV感染の高いリスクに直面している人たち、HIVに影響を受けている人たちを不当に標的とした制限的な法律および政策的枠組みを有する国を2025年までに10%未満にする。

- 2025年までに低・中所得国の社会的イネーブラー（人権の保護、偏見や差別の削減、必要な法改正など）に31億ドルを投資する。

- U=U（検出限界値未満=感染しない）のメッセージの活用を含め、HIV陽性者、HIV感染の高いリスクに直面している人たち、HIVに影響を受けている人たちの間で偏見や差別を経験する人の割合を2025年までに10%未満にする。

「スティグマ、差別、暴力、犯罪化、懲罰的な法律は現に、キーポピュレーションや弱い立場に置かれている人たちの生活に存在し、絶え間ない脅威となっています」

エイズに関する国連ハイレベル会合2021に先立って発表された市民社会宣言から

ユニバーサルヘルスカバレッジとの統合

主な約束

- HIVサービスをユニバーサルヘルスカバレッジおよび強力で復元力の高い保健システムに統合する動きを進め、COVID-19と人道的危機からの回復を公平かつ包括的な方法で構築する。公衆衛生の強化をはかり、将来のパンデミックに備える。

- 保健、社会保護、緊急時およびパンデミック対策の国内資金調達とHIV対策資金の調達との統合を進めていく。

- HIVと結核、C型肝炎、性感染症（HPV、B型肝炎を含む）との高い重感染率を抑える。これらの重感染はHIV感染のリスクを高め、HIV陽性者のエイズ発症率や死亡率を高めることになる。

- HIV感染とその重複感染症、併存症の予防・診断・治療のために、ジェネリック薬やワクチン、診断薬、その他の健康技術を含め、安全で効果的かつ品質が保証された医薬品が世界のどこでも手ごろな価格で入手、利用できるようにする。そのために、医療技術の利用や目的を妨げる規制、政策、慣行などすべての障壁を可能な限り緊急に取り除く。また、医療技術の価格と生涯にわたるケアに必要なコストを抑えるため、利用できる手段はすべて活用し、各国間および国内における公正かつ公平な医療の供給を促すことで、達成可能な最高水準の心身の健康を享受する権利の完全な実現に努める。

2025ターゲット

- 強靭で復元力が高く、公的資金に支えられた公平な保健と社会保護制度への投資を行う。このことが、HIV陽性者、HIV感染のリスクに直面する人たち、HIVに影響を受けている人たちの90%に対し、人を中心にすえ、それぞれの事情に応じた統合的HIVサービス、および以下のサービスを提供することになる。
  - 他の感染症。
  - 非感染症。
  - 性と生殖に関する保健ケア。
  - ジェンダーに基づく暴力。
  - メンタルヘルス。
  - 緩和ケア。
  - アルコール依存症治療と薬物使用に関する法的サービス。
  - 健康と福祉全体にかかわるその他の必要なサービス。

- 2025年までに、HIV陽性者、HIV感染の高いリスクに直面している人たち、HIVに影響を受けている人たちの45%が社会的保護サービスの給付を受けられるようにする。

- 人道的な危機状況にある人たちの90%が統合的HIVサービスを利用できるようにする。

- パンデミック対策の基盤および事前の取り決めの中でHIV対策が体系的に関与できるようにし、パンデミックへの準備計画の重要な要素として各国のHIV戦略計画を活用する。HIV陽性者、HIV感染の高いリスクに直面している人たち、HIVに影響を受けている人たちの95%がCOVID-19を含むパンデミックからまもられるようにする。

投資資金の確保

2025ターゲット

- 2025年までに低・中所得国へのHIV投資を次の方法で年間290億ドルに増やし、十分な対策資金を確保する。
  - 官民パートナーシップ、債権金融、債務救済、債務の再編と健全な債務管理、累進課税、汚職と違法な資金の流れの摘発、隠匿資産の特定・凍結・回収および返還など、様々な戦略とアプローチでHIV対策国内資金の持続可能な拡大をはかる。
  - HIV対策資金の調達を保健、社会保護、緊急およびパンデミック対応のための国内資金調達に統合していく。
  - 国民総所得の0.7%、後発開発途上国に対しては0.15-0.20%という政府開発援助目標を達成するという約束を果たす。政府開発援助の中のHIV対策の割合を増やす。

「不平等と差別、人権の実現を妨げる障壁、ジェンダーにまつわる障壁によって、この流行が煽られていることは私たちが皆、分かっていることです。資金と政治のリーダーシップによって、その障壁を打破しなければなりません」

ピーター・サンズ世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）事務局長

エイズに関する国連総会ハイレベル会合のサイドイベント『効果的なエイズ対策に向けた資金確保に関するパネルディスカッション』での講演から

データ、科学、およびイノベーション

主な約束

- 研究開発を含む科学技術への投資を拡大し、HIVワクチンとHIVの機能的治癒に向けた研究の進展を加速する。
- データの活用、イノベーション、研究開発、科学技術の充実強化をはかり、エイズ終結に向けた動きを加速させる。
- 疫学的、行動学的なモニタリングと評価のシステム、プログラムと資金の活用、コミュニティに関する参加型のモニタリングと評価のシステムを確立する。そうしたシステムがHIV陽性者や他の取り残された人たちに緊急に焦点を当てることによって、すべての人口集団をカバーし、支援し、力を与えるために必要な推計と細分化されたデータの作成、収集、使用が可能になる。
- HIV陽性者、HIV感染の高いリスクに直面している人たち、HIVに影響を受けている人たちやその他の受益者に対する守秘義務と人権を完全に尊重するという前提のうえで、収入、性別、感染経路、年齢、人種、民族、移住状況、心身の障害、婚姻状況、地理的な位置などによって分類された詳細なデータを収集、使用、共有する。
- 研究開発を含む科学技術への投資を拡大し、HIV陽性者、HIV感染の高いリスクに直面している人たち、HIVに影響を受けている人たち、若者、女性、少女を含めた最も困っている人たちのための工夫を重ねて、HIVワクチンとHIVの機能的治癒に向けた研究の進展を加速する。

国連合同エイズ計画

主な約束

- 25年にわたる国連合同エイズ計画（UNAIDS）の経験と専門知識を支援し、活用する。エイズ終結に向け、そして世界の公共財としてすべての人に健康を提供する目的に向けて、関係者の間でのユニークな分野横断的協力、および開発と人権を重視した協調的アプローチをさらに強化し、拡大する。
- 世界のエイズ対策を主導し、パンデミックへの備えとグローバルヘルスへの対応を支えるため、UNAIDSに対する資金確保、および独自の運用モデルの改善、強化を支援する。
- 各国はUNAIDSに対し、コミットメント実施の進捗状況を毎年、自発的に報告する。

その他のコミットメント

結束して行動し、不平等に終止符を打つ

幅広い利害関係者との協力をさらに進め、世界や地域全体、各国内、各地方でHIV対策の充実、強化をはかる。関係者には以下の人たちや組織が含まれる。地域組織とイニシアティブ、HIV陽性者、HIV感染の高いリスクに直面している人たち、HIVに影響を受けている人たち、キーポピュレーション、先住民、地域社会、さまざまな状況下の若者や年配者を含む女性･男性、少女･少年、難民、移民、国内避難民、政治およびコミュニティの指導者、国会議員、裁判官および裁判所、コミュニティ、家族、信仰に基づく組織、宗教指導者、科学者、医療専門家、ドナー、慈善団体、移住労働者を含む労働者、民間企業、メディアと市民社会、コミュニティ主導の組織、女性組織、フェミニストグループ、障害者および障害者を代表する組織、若者主導の組織、各国の人権機関、人権擁護者、国連機関、および世界エイズ･結核･マラリア対策基金（グローバルファンド）などの国際機関。

効果的でエビデンスに基づき、相互に説明責任を果たすことができるメカニズムを約束する。そのメカニズムは包括的かつ透明性が高く、HIV陽性者、HIV感染の高いリスクに直面している人たち、HIVに影響を受けている人たち、および関連する市民社会組織や学術関係者、民間企業が積極的に関与できる。

すべての人に向けたコンビネーションHIV予防

さまざまな状況に置かれた思春期の少女と女性の間で、HIVとその併存症、重複感染、性感染症、意図しない妊娠を防ぐ統合的サービスを提供する。サハラ以南のアフリカにおけるすべての思春期の少女と若い女性には、こうしたサービスを緊急に拡大する。また、質の高い中等教育を受ける少女の権利を確保し、早期および強制的な結婚、女性性器切除などすべての有害な慣行を排除するための努力との統合を進める。国際人口開発会議（ICPD）の行動計画、北京宣言とその行動綱領、およびそれらのレビュー会議における成果文書に従い、性と生殖に関する健康と権利を含む女性と少女の人権をすべて保護し、促進し、遂行する。すべての女性が、性と生殖に関する健康、強制や差別、暴力を受けない権利を含め、自らのセクシュアリティに関する問題は自ら管理し、自由かつ責任をもって決定する権利を行使できるようにする。それが、HIV感染から身を守る力を高め、経済的自立を強化し、ジェンダーの固定観念に挑戦し、否定的な社会規範に立ち向かえるようにすることになる。

不平等を永続させ、HIVリスクを高める社会的、経済的、構造的要因に対処する役割に加え、HIVに対する知識と認識を深め、検査と治療への入り口、そして偏見と差別を終わらせるための入り口となる教育部門の役割を強化する。

科学的に正確で年齢に適した包括的な教育の拡大をはかり、文化的背景に考慮しつつ、学校教育および学校教育以外の場で、思春期の少女と少年、若い女性と男性に対し、発達段階に応じた教育を提供する。その中には、性と生殖に関する健康、HIV予防、ジェンダーの平等と女性のエンパワーメント、人権、身体的･心理的発達、思春期における発達、女性と男性の力関係に関する情報を含める。若者、両親、法的な後見人、介護者、教育者、医療提供者がしっかりと協力することにより、HIV感染から身を守れるよう、自尊感情を大切にし、十分な情報に基づく意思決定を可能にし、コミュニケーションとリスク削減のスキルを高め、敬意を持って相手に接する人間関係を築いていく。

性と生殖に関する保健サービスとHIV予防･検査･治療サービスに対する構造的障壁および配偶者の同意要件を撤廃する。

社会的な啓発キャンペーンおよび対象を明確にしたHIV教育の実施を通し、HIVに関する社会の認識を高める。

HIV検査と治療の95-95-95ターゲット

良質かつ利用可能で使いやすく、手頃な価格の保健医療およびその関連サービスをスティグマや差別がなく公平に提供することで、成人のHIV陽性者のニーズに応えられるようにする。そうしたサービスは、自立と社会とのかかわりを保ち、メンタルヘルスと福祉、HIV関連の治療とケアの維持、併存疾患と重複感染に対する予防と治療を支えることになる。

小児エイズ終結と垂直感染（母子感染）の排除

小児のHIV予防･検査･治療･ケア･支援に関する医療従事者向けの適切な研修を奨励する。

ジェンダーの平等と女性の地位向上

性的暴力、ジェンダーに基づく暴力、子供の結婚、早期結婚、強制結婚、女性性器切除など有害な慣行・社会規範、ジェンダーに関する固定観念に対処する国のジェンダー平等戦略を確立し、確実にその資金を調達して遂行する。その戦略により、女性と少女の声を反映し、自立と主体性、リーダーシップを高める。

少女と若い女性に対する社会保護政策を充実させる。男性と少年にも、否定的な社会規範とジェンダーの固定観念を変えるための関与を促す。

HIVを予防し、思春期の少女と若い女性に力を与え、ジェンダー平等を達成するために、サハラ以南のアフリカ地域を含む様々な地域、準地域で進められている行動と投資の拡大構想を歓迎し、支援する。

コミュニティのリーダーシップ

安全で開かれた環境のもとで、市民社会が宣言を実行し、HIVとエイズに対する闘いに十分、貢献できるようにする権限を認める。

ピア主導のHIVサービスの提供など、人を中心に据えた統合的な対策を維持するための資金をコミュニティが確保できるようにする。そのために社会契約その他の公的資金調達メカニズムを含め、必要な法律を制定し、政策を実施する。

ピア主導の対策を強化し、有能で意欲のある熟練コミュニティヘルスワーカーの採用と育成に力を入れることを奨励する。また、サービスが届きにくい人たちに質の高いサービスを届けられるよう、コミュニティベースの健康教育と研修の充実をはかる。

人権の実現、スティグマと差別の解消

HIVに関連したあらゆるかたちのスティグマや差別をなくすために、政治の最高レベルにおけるリーダーシップを示す。政府や社会全体、そして多部門の対応を通じ、政策の一貫性と協調的な行動を促してく。

プライバシーと個人情報の保護、インフォームドコンセントの権利を完全に尊重し、すべてのサービスをスティグマや差別なしに設計、提供する。

ユニバーサルヘルスカバレッジとの統合

健康、教育、司法、経済、金融、貿易、情報技術、社会保護、そして持続可能な開発目標の達成を促進するための開発、人道支援、平和構築など、幅広い分野にまたがる経験と専門知識、社会基盤、多部門間の調整機能をHIV対策に生かす。

科学の成果とエビデンスに基づき、HIV陽性者、HIV感染のリスクに直面している人たち、HIVに影響を受けている人たちなど利用者の事情に合わせた分化型HIVサービスが、ユニバーサルヘルスカバレッジのパッケージの一部であることを確認する。

COVID-19パンデミックに際し、コミュニティベースの保健システムが示した復元力と改革の力を生かし、影響を受けているコミュニティに必要不可欠なHIVサービスおよび保健サービスが届けられるようにする。

人を中心に据えたコミュニティベースのサービス、およびプライマリーレベルと他のレベルの医療間の紹介システムの強化を通じ、ユニバーサルヘルスカバレッジの基礎となるプライマリーヘルスケアの提供を拡大する。

コミュニティをベースにした緊急対応のインフラストラクチャに投資し、保健に関する緊急事態やパンデミックに対応できるよう、コミュニティの自立やアウトリーチ、情報、ピアサポートの能力強化をはかる。

知的所有権の貿易関連の側面に関する協定（TRIPS協定）の中で、とりわけ医薬品の利用と取引を促すために設けられた柔軟性をフル活用する。

小児向けHIV薬や診察の場で使える診断薬を含めたジェネリック薬と革新的製品の開発に向けて、手頃な価格の保健医療製品の市場参入を促すための医薬品特許プールなどの取り決めとメカニズムを活用する。革新的な製品が手頃な価格で入手できるよう品質が保証されたジェネリック薬の製造を通じて、医薬品市場における競争を促進する。

合同調達を含む調達とサプライチェーンの管理により市場力学アプローチを強化する。

イノベーションに対する報酬が市場独占権からかけ離れている場合や市場のインセンティブが満足のいく結果をもたらさ

なかった場合には、医療分野における研究開発の資金調達と調整のための代替モデルを探求し、革新的な医療技術へのアクセスを増やす。製品の最終価格から研究開発費を切り離すための助成金や報償その他の方法、市場の透明性の向上、知的財産権、ノウハウ・技術・データの共有などが含まれる。

保健に関する規制を強化し、品質が保証された保健技術による現地生産能力を高める。このため、南北協力や南南協力、三角協力による技術移転の共同プラットフォームなどを通じ、低・中所得国の能力開発を進める。南南協力は南北協力を代替するものではなく、それを補完するものであることを認識し、国際連帯の強化をはかる。

アフリカ医薬品庁（AMA）の設立と効果的な運用を含め、アフリカにおけるパンデミック対策、および医薬品、診断薬その他の医療技術の研究開発と製造、流通における自立強化の試みを支援する。

HIV感染と重複感染、併存疾患の予防・診断・治療のための医薬品、ワクチン、医療機器、診断薬、補助製品、細胞および遺伝子ベースの治療法、その他の医療技術の価格に対し、バリューチェーン全体を通して透明性を高める。国や地域の法的枠組みや状況に応じた規制の改善、および業界、民間部門、市民社会などの利害関係者との建設的かつより強いパートナーシップを通じ、一部の保健医療製品の高価格に関する世界的な懸念に対応していく。

データ、科学、およびイノベーション

イノベーションと研究開発において民間部門と学術分野が果たす役割の重要性を生かし、民間部門との関与を戦略的に進める。

保健分野におけるデジタル技術とイノベーションの潜在力を生かし、HIV対策の推進、達成可能な最高水準の身体的および精神的健康を享受する権利の実現、安全に利用でき人権義務を果たすことができるサービスの強化をはかる。

世界のHIV/エイズ対策の強化に向け、国際的な科学協力を進める。その協力には、互いに合意した条件に基づく開発途上国の能力開発、および技術移転の提供も含まれる。

HIV薬剤耐性株、および抗微生物薬耐性（AMR）の出現を監視、予防、対応するための効果的なシステムを確立する。

投資資金の確保

HIV対策資金を完全に確保するために合意された追加的手段：

- 南北協力、南南協力、三角協力を強化して国内資金の不足を補う。南南協力は南北協力の代替物ではなく、補完するものであることに留意する。さらに残された資金ニーズに対応するため、財政的な能力が限られている国、およびCOVID-19により深刻な経済的打撃を受けた国のHIV対策には、二国間および多国間ドナー（世界エイズ・結核・マラリア対策基金、米大統領エイズ救済緊急計画など）の新たな資金拠出を得る。取り残された人たちへのサービス提供、ピア主導のHIV対策、社会的イネーブラーへの資金にはとくに十分な配慮が必要になる。
- この宣言に含まれるコミットメントの達成に向けて、各国間、地域間での研究成果、エビデンス、成功事例などの情報と経験の交換を奨励し、支援する。
- 世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）の増資会議で必要な資金を確保し、エイズ終結に向けた世界基金の貢献に引き続き焦点を当てる。
- Gaviワクチンアライアンス、世界エイズ・結核・マラリア対策基金、UNITAID、医薬品特許プールなど、マルチステークホルダーのパートナーシップとイニシアティブが保健分野で成果を上げていることを認識し、その活動がこれまで以上に機能するよう調整をはかりつつ、保健システム強化にさらなる貢献を果たすことを奨励する。
- 開発途上国に向けた譲許的融資を増やすなど開発協力に力を入れる。また、多くの後発開発途上国、内陸開発途上国、小島嶼開発途上国、さらにますます増えつつある中所得国が直面している債務の持続可能性の課題に取り組んでいく。

国連合同エイズ計画

HIV対策と他の持続可能な開発目標が相互に関連しつつ進められるようにするためのハイレベル政治フォーラムを含め、持続可能な開発のための2030アジェンダのフォローアップと検証に取り組む国連合同エイズ計画の活動を支援する。

国連合同エイズ計画には、エイズの流行の社会的、経済的、政治的、構造的な拡大要因に対応するため、ジェンダーの平等と女性のエンパワーメント、人権尊重の活動を通し、エイズ終結に向けた包括的な国家戦略を開発するための各国政府の能力を強化すること、流行に対応するよう世界的な政治の関与を呼びかけることによって、その使命の範囲内で引き続き加盟国を支援するよう要請する。

国連合同エイズ計画の共同スポンサーおよびガバナンスモデルが、各国の状況と優先課題を反映しつつ、その調整機能と結果重視の姿勢、包摂的なガバナンス、および各国レベルに与えた影響を通じて、国連システムに戦略的一貫性の具体的事例を提供していることを再確認する。常駐コーディネーターシステムの再活性化に対する国連合同エイズ計画の貢献に留意する。

20 Avenue Appia
CH-1211 Geneva 27
Switzerland

+41 22 791 3666

unaids.org

翻訳　公益財団法人エイズ予防財団